

第12回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会議事録

- | | | |
|--------|---|-------------|
| 1. 日 時 | 平成27年11月24日(火) | 18:30~19:25 |
| 2. 会 場 | エコーセンター2000 | 3階 学習室A |
| 3. 出席者 | 長澤委員(座長)、本間(典)委員(副座長)、高橋委員、成瀬委員、
中山委員、深川委員、明神委員、大泉委員 | |

(高井課長)

本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、「第12回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催いたします。お手元に出席者名簿をお配りしておりますが、4名の委員から当日欠席のご報告をいただいております。服部委員、本間委員、乾委員、菅野委員です。

ここからの議事進行につきましては、長澤座長にお願いしたいと思います。

(長澤座長)

皆様、悪天候の中、大空の方もいらっしゃっていますが、生活の面でも厳しい季節になりました。

先月、10月6日に懇談会を開催いたしまして、平成28年度から平成32年度、5カ年にわたる第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの策定に取り組んでまいりました。前回、案に関して概ね了承いただいたところですが、何箇所かご指摘事項がございまして、その点について事務局からご報告いただいて、前回と同様に多方面の方々からご意見・ご指摘等をいただきまして、全てをビジョンに盛り込もうということではございませんが、それは財政的など色々な意味で難しいですが、情報交換という意味合いも含めて活発な意見交換が出来ればと思います。ただ、悪天候でございますので、あまり時間を費やすことができませんが、後ほど総合戦略についても事務局からご説明があるということですので、はじめていきたいと思っております。

早速ですが、議事次第の1つ目「第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョン(案)」について、事務局から説明をお願いします。

(高井課長)

それでは、「第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョン(案)」につきまして説明させていただきます。

今回、新たに修正を加えた箇所を赤文字で記載しております。

また、前回の懇談会でご指摘いただいた内容につきましては、対応状況と併せて一覧表にまとめております。1点目、ビジョン案の39ページ、「20生活路線バスの維持・確保事業」の記述において、「コンパクトシティ」が何の前触れもなく突然出て

きている感じがするというご意見をいただいたものですが、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」は、コンパクトなまちづくりと連携して「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えのもとに制定されたものであることから原案のままとさせていただきたいと考えております。

2点目は、懇談会の委員に教育委員を追加してはどうかのご意見ですが、事務局としましては、他の圏域の委員選任状況なども勘案しながら、次回の委員改選期の検討事項とさせていただきたいと考えております。

このほか、12ページの観光分野についてデータが更新されましたので、赤文字で修正しております。

説明は以上となります。

(長澤座長)

それでは、お手元のA3の資料に2点について事務局の回答がございます。

まずは、その2点についてご議論いただきたいということと、ビジョン案に新たに修正を加えた個所を赤文字で掲載しております。12ページのところに観光客の入込について平成26年の新しい数値を加えて、文章もそれに応じて修正されています。

ただ、飛行場の利用者数について伸びていますが、果たして、その中に観光客がどのくらいいるかというのはわからないということです。

まず、1点目、明神さんから、唐突感があるというご指摘でしたが、法律の文言上出てきているということで、必ずしも全てをコンパクト化するというわけではないという意味ということですがいかがでしょうか。

(明神委員)

はい。わかりました。

(長澤座長)

次に、成瀬委員と私からも申し上げましたが、教育分野で社会教育だけではなく学校教育含めた色々なメンバーを入れてしかるべきではないかということでしたが、他の地域の定住自立圏懇談会委員の選任状況を見ると必ずしもそうではないという話と事業という面で考えると、縦割りということもあるかもしれませんが、学校教育は文部科学省や教育委員会の方でやっているということで、事業と直接結びつかない、今後の委員改選の時に検討したいということと、案件がある場合はオブザーバー的に呼ぶなどして対応したいということで、今年度は対応していきたいという事務局の案でございますがいかがでしょうか。

(成瀬委員)

よろしいです。

(長澤座長)

これで本日の案件は終了となりますが、全体を通じてご意見、ご質問などないでしょうか。

(深川委員)

今後に向けて1市1町で続けていくのか、このまま先行していくと他町村が入りにくくなるのではないかと。前回も言いましたが、北海道で唯一の世界遺産を抱える斜里町を早い段階から連携していかないと、観光などの連携も文章だけでなかなか実践されてこない。他の町の参加を待つだけでなく働きかけも必要ではないかと思えます。

観光という点で大空町は空港を抱えているが、そういった核になる観光地、観光の目的がなければ空港の発着便も人口も増えていかない。核になる町に働きかけを出来るようなシステム、間口を広げていくことができればと思っている。

(長澤座長)

13ページの現状と課題で、医療に関しては既に斜網地区の連携構想検討会議で地域でサポートし合うという体制ができています。その下に書かれている広域観光については文言上は、14ページ、「女満別空港整備・利用促進協議会」、「女満別空港国際チャーター便誘致協議会」、「ひがし北海道観光事業開発協議会」等の取組で各自治体が連携して、と書いてあるが、事業の中身として具体的に、政策手段として当懇談会としてこう考えているというのをなんらかの形で示していくことも必要ではないか。

第4章以降は、今後、予算額も入ってくるが、知床を含めた、大空町はJRを活用して釧路と連携であったり実際の形で動いているので、それをこの懇談会でも意識して色々な意見を反映させていくということで、事業に結びつくかは別として、そういう意気込みと位置づけをもう少し重たくということですので、そういう趣旨で事務局でも検討いただければと思います。

(深川委員)

斜里町さんとしては、観光は特段強調されなかったんですが、医療と福祉については連携をしたいとのことでした。

(長澤座長)

大空町さんもこの前おっしゃったけれども厚生病院という核があるので、連携していくという大事な点があります。医療や観光など色々な領域で広域的な取組をどうするかということですね。文言だけでなく実際に考えていきたいと思えます。

(深川委員)

できれば参画したいという方々をオブザーバーという形で招待したいと考えている。

(長澤座長)

医療、観光に限らずそれぞれの分野で、環境、教育、防災など斜網全体で手を組んでやっけていかないといけない実際上の課題もずいぶんあると思う。他の協議会で検討していることだと思えますが、この懇談会でも共通の認識に立って考えていくという前向きに取り組んでいきたい。

場合によってはそういった方々を呼んで意見を聞くということもあると思えます。非常に貴重なご意見をいただきました。

その他、何かございますか。

事務局から地方版創生総合戦略について、人口ビジョンとともに作成されて、予算も先行的について、網走市もついています。

せっかくの機会ですので、両市町の戦略について簡単に事務局からご説明をお願いします。

(高井課長)

それでは、網走市のほうから、総合戦略について、ご説明いたします。

昨年施行されました、まち・ひと・しごと創生法の第10条に基づき、網走市におきましても、地方版総合戦略を本年10月に策定いたしました。

当市の戦略では、①若い世代が安心して働き、希望どおりの結婚・出産・子育てができる社会経済環境の実現、②地方に住み、働き、豊かな生活を実現したい人々の希望の実現、③地域に即した課題の解決と地域間連携、を基本的な視点として、5つの目標を掲げました。

はじめに、基本目標1『若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出』であります。

安定した雇用を創出することを目指し、市内事業所の従業員数16,000人を目標値としております。

基本目標1の基本方針は、「1. 産業振興策の構築」と「2. 多様な就労環境の創出」でありまして、それぞれの下に具体的な施策を記載しております。

次に、基本目標2『観光や健康・スポーツなど、網走の地域特性を生かした交流人口の拡大』であります。

網走への新しいひとの流れをつくることを目指し、観光入込客数170万人を目標としております。

基本目標2の基本方針は、「1. 交流人口の拡大」でありまして、その下に具体的な施策を記載しております。

次に、基本目標3『若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり』であります。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることを目指し、合計特殊出生率1.65を目標値としております。

基本目標3の基本方針は、「1. 結婚・妊娠・出産・子育てについての切れ目ない支援」、「2. ワーク・ライフバランスの実現」、「3. 若い世代が安心して働ける場の確保」の3つでありまして、それぞれの下に具体的な施策を記載しております。

次に、基本目標4『東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから「明日をひらくひと」の育成』であります。

網走の地域特性であります東京農大、日体大と連携してまちづくりを進めながら、全国学力調査の全国平均正答率との差、全国体力調査の全国平均との差を全国平均にすることを目標値としております。

基本目標4の基本方針は、「1. 東京農業大学や日本体育大学附属高等支援学校との連携」、「2. 多様な人材の確保」、「3. 子どもの学力・体力向上の推進」、「4. 社会教育の推進」でありまして、それぞれの下に具体的な施策を記載しております。

最後に、基本目標5『支え合い、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり』であります。

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ることを目指し、健康寿命、人口の維持、生活習慣病罹患率に記載のとおりの数値にすることを目標としております。

基本目標5の基本方針は、「1. 住み慣れた地域で安心して暮らせる基盤整備」、「2. 小さな拠点づくりを結ぶコンパクトシティの推進」、「3. 公共施設などのマネジメント強化と住環境づくりの推進」、「4. 地域間連携施策の推進」の4つでありまして、それぞれの下に具体的な施策を記載しております。

本懇談会の関係といたしましては、この基本目標5の一番下に具体的な施策「定住自立圏による地域間連携の推進」を記載しておりまして、今後も、定住自立圏協定に基づき、圏域内における住民の利便性向上を促進してまいりたいと考えております。

なお、本戦略の効果を十分に実現することで、人口減少が与える各分野への影響を緩和し、目標人口を確保します。

目標としましては、2040年に32,900人としております。

以上です。

(林参事)

大空町におけます総合戦略につきまして、私から説明させていただきます。

本町の総合戦略は10月末に作成させていただきました。

まず大きく3つのくくりがありますが、一番左をご覧ください。

大空町の人口ビジョンといたしまして、統計データなどを踏まえ、将来の目指す方向について作成したところです。

出生率を高め若い世代の人口減少を抑制することにより、人口減のスピードを抑えるという方向性です。

具体的には出生率を高めるということで、2015年に1.71でございますが、これを2020年には1.90、2025年には2.20まで上げていきたいと考えています。

また、若い世代の人口減少を抑制していきたいとも考えておりまして、2040年には約6,000人の人口規模を確保することとし、何も対策を行わなかった場合よりも人口が約700人上回ることを目標としています。

このビジョンを達成するための対策ですが、大きく4つの項目を掲げています。

1つ目としましては、「子育ての喜びを実感できる環境をつくる」ということで、子育てに関する支援でございます。

こちらでは現状1.71の出生率を1.90まで高めていきたいと考えているところでございまして、「(1) 結婚・妊娠・出産への支援」、「(2) 子育て世帯の経済的支援」、「(3) 子どもの健やかな成長と子育て支援の充実」などを講じていきたいと考えているところです。

また、2つ目の施策としましては、「行きたい、住みたい、住み続けたい、魅力あふれるまちづくり」ということで、移住・定住の促進と交流人口の増大を図ってきたいと考えているところです。

数値目標としましては、5年平均の年間社会増減数を、現在、転入・転出の推移を見ていきますと、転入よりも転出が多いとマイナスの傾向が続いています。現在は、5年平均でマイナス70人ありますが、これをマイナス20人まで抑制をしていきたいと考えています。

また、年間の観光入込客数、現在87万2千人を90万人まで高めていきたいと考えているところです。

施策としましては、右側の「(1) 移住者の受け入れと定住の促進」ということで、子育て世代の定住策なども考えているところです。また、「(2) 交流人口の増大により地域の活性化」ということで、観光資源の効果的な発信、関係機関・団体との広域的な連携、スポーツ合宿、文化合宿なども積極的に誘致していきたい、さらには女満別空港の利用の促進なども進めていきたいと考えているところです。

また、「(3) 互いに支え合い、安心して暮らせる地域づくり」ということで、地域による支え合いの輪を広げ、安心して暮らせる地域社会を実現していきたいと考えています。また、その下支えとして医療や福祉体制も整備していきたいと考えています。

大きな3つ目の施策として、「産業の振興と安定した就業環境をつくる」ということで、産業振興と仕事づくりについて記載しているところでございます。

目標としましては、農業所得18億5千万円に対して20億円にまで高めていく、年間商品販売額163億7千万円を180億円まで高めていきたいと考えているところでございます。

施策としましては、「(1) 地域資源を活かした産業の創出」ということで、地域の素材を活かした新たな商品開発ですとか、6次産業化を推進していきたいと考えているところです。「(2) 雇用機会の確保と創出」ということで、企業誘致の推進や起業、創業、業務拡大に対する支援策を講じていきたいと考えているところでございますし、地域を支える担い手の育成と確保ということで、学生によるインターンシップを推進していきたいと考えているところです。

最後4つ目の「いきいきと活力みなぎる個性豊かな地域づくり」ということで、目標としましては、人づくりという観点から設定が難しいのですが、将来の夢・目標を持っている児童・生徒の割合を上げていく、さらには町づくり参加への満足度を、町民アンケートによる数字ですけれども、こういったものを高めていきたいと考えております。

施策としましては、「(1) 地域を支え、時代を担う人づくり」ということで、心と体の健康づくりを推進していく、また、グローバル化や社会情勢の変化に対応できる個性豊かな人材育成を推進していきたい。さらには一番下になりますが、壮年世代の知恵と技能を活かし、次世代の育成と地域づくりを推進していくということで、定年退職を迎えた方々の技能や知恵を地域に還元してもらおうといった仕組みづくりをしていきたいと考えております。

以上でございます。

(長澤座長)

2つの市と町の総合戦略、共通点と違いが色々あると思いますが、ご質問、ご意見をご自由に発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

これは、パブリックコメントなどは終わっているんですか。

(高井課長)

終わっています。

(本間副座長)

数値目標が達成できなかった場合のペナルティとかはあるのか。

(高井課長)

特にありません。

(高橋委員)

総合戦略の具体的な施策はあるのか。

(林参事)

大空町の場合につきましては、今回、概要版として個別の具体的な施策の考え方を列記していますが、この下に主な取組事業というものをさらに記載をしているところでございます。これについては、実際に実施できるかどうかも含めての検討であります。現時点で考えられる施策について事業名などを記載しているところでございます。

(高井課長)

網走市の戦略ですが、概要版には紙面のスペースの都合上記載をしておりませんが、戦略本編をご覧くださいますと一番最後のページにバブル図がありまして、丸の大きさで今後、力を入れていく事業ということで記載をしております。

例えば、農水産物の輸出を拡大していこうとか、農大さんと連携して研究を進めていこうとか、東京オリンピック・パラリンピックのホストシティタウンを進めていこうということを書き込んでいます。

本日は配付しておりませんが、網走市のホームページに掲載しておりますので、何かの機会にご覧いただければと思います。

(長澤座長)

確かに文言上はもっともなことが書かれていますが、私なりに地方創生とは何かと考えたのですが、現在の安倍政権、アベノミクスの3つの矢、さらに新しい3つの矢が出て、石破大臣が地方創生に力を入れようということをやっていたのですが、その後、安保法制で色あせてしまい、地方消滅という増田さんの本がきっかけでもありますが、アベノミクスを地方にいきわたらせることが課題だと思っておりますが、交付金なり補助金をいかに勝ち取るかという話でもあります。

それぞれの町村、網走市も第5期の総合計画との整合性を取っていて、その中の戦略版とのことですが、大空町もリンクしていますよね。上手く組みこんでやっているというのが実態だと思います。これ自体が独り歩きしてというのではなく、既に先行予算で道内で54町村くらいでしょうか、網走市も交付を受けていますね。

(高井課長)

網走市も10月末までに総合戦略を策定した自治体に交付される1,000万円の交付金の申請をしております。また、広域で実施する事業として300万円の申請をしています。

(長澤座長)

清里町は町営住宅、民間の賃貸住宅の部分で、移住者向けということで予算が付いていますが、これから各市町村では今、不足しているところの交付金や補助金を確保

していくということに頭を痛めているようです。

これからはこの戦略をもとに動いていきますので、定住自立圏の話も関係してきますし、網走市の場合は戦略の5番目のところに定住自立圏等により地域間連携の推進ということもうたっていますのでリンクすることもあると思います。また、色々な形でビジョン懇談会の中でもここで出された戦略の中身についても関係するところが出てくると思いますので、懇談会としても戦略の内容を踏まえていきたいということで、皆様の念頭に置いていただきたいということです。特に細かい議論はいたしません、せつかくの機会ですので話題提供ということで事務局に説明していただきました。委員それぞれの場で議論していただければと思います。

それではその他について、事務局からお願いします。

(高井課長)

事務局から2点ほど説明させていただきます。

まず、第2次共生ビジョンの策定期間についてご案内させていただきます。

今回お示しした内容を精査したうえで、第4章、第5章の予算額を記載し、平成28年3月を目途に策定し、同年4月に公表を行う予定でございますので、ご承知おきください。

また、本ビジョンは、毎年、所要の見直しを行うこととしており、来年6月に予定しております次回懇談会において、委員の皆様にご議論いただきたいと考えております。

事務局からは以上です。

(長澤座長)

来年3月を目途に作成して、4月に公表する。平成28年4月から5年間、このビジョンが動いていくわけです。毎年見直しを行うということで、来年6月頃に次回懇談会を開催するとのことでございます。

また、その間、何かございましたら各市、町に色々と申しつけいただければと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

それでは第12回の懇談会を終えたいと思います。みなさん悪天候の中、どうもありがとうございました。